

8寸目・9寸目の短い手挽鋸 美観を重視した造作細工向け「携帯造作200」発売

株式会社TJMデザイン(社長・田島庸助、本社・東京都板橋区)は、刃渡り200mmで伝統鋸の「8寸目」および「9寸目」の刃を備えた折込式鋸「スマートソー200携帯造作」(商品名)3種を全国の金物店、ホームセンター等で2月1日に発売します。メーカー希望小売価格は全種3,024円(本体価格2,800円)です。

発売するのは次の3種です。

1. スマートソー200携帯造作【8寸目】(精密) =次頁写真

和室の造作全般(鴨居や廻縁、敷居など)や切り口の見える仕上げ部分の精密切断に最適。〈用途〉木質建材(一般木材(硬木)、MDF、集成材、合板)の精密切断

2. スマートソー200携帯造作【9寸目】(万能) =次頁写真

垂木や胴縁などの下地材など木質建材全般の切断に最適。切れ味とスピードのバランスがよく、オールマイティに使用できる。〈用途〉木質建材(一般木材(硬木)、MDF、集成材、合板)の切断

3. スマートソー200携帯造作【9寸目薄刃】(薄刃、縦横斜) =次頁写真

床や天井、建具などの木質系造作材の切断に最適。4×2×2(横引高歯×横引低歯×縦引歯)目立てにより、材料の繊維方向に関係なく縦横斜切断ができる。9寸目よりも薄く、切れ味に優れる。〈用途〉木質系造作材(一般木材(硬木)、MDF、集成材、合板)の切断

当製品のグリップ(柄)は折込式です。折り込んで道具袋で常時携帯でき、狭所作業場にも持ち込みできます。グリップのボタン操作で「キワ切断」「通常切断」の2つの刃固定角度が選べます。

(商品背景)

伝統的に手挽鋸は刃の長さに応じて目(刃)の細かさが規定されています。刃長250mmの8寸目は精密(細目)、刃長265mmの9寸目万能(中目)です。これらの伝統鋸は現在も販売していますが、電動マル鋸等の普及によって切断に用いられる機会が減少。今日、これら8寸目、9寸目の用途は、鴨居、廻縁、敷居、その下地材の加工など美観を重視した造作細工仕事に絞られています。こうした室内作業を行うのには、従来の鋸の長さが余分であることから、「8寸目/9寸目」を備えていてサイズは短い鋸の需要が高まってきました。「スマートソー200携帯造作」はこの要求にこたえるものです。

スマートソー200携帯造作

【8寸目】

【9寸目】

【9寸目薄刃】



(各パッケージ)

